

決議

決議 4号

全会一致で  
可決

普天間飛行場の危険性及び早期閉鎖、返還について

(提案理由)

本町は普天間飛行場において行われる旋回飛行訓練における旋回区域になっており、常に訓練機の墜落の危険にさらされるとともに騒音の被害を受け続けている。特に、2004年8月13日に起こった大型輸送ヘリコプター CH-53D の沖縄国際大学への接触、墜落事故は、住民に死者、負傷者が出なかったものの許しがたい現実であり、同様の事故が本町においても起こり得る状況にある。このような普天間飛行場から派生する多大な基地被害を皆無とし、大事故を未然に防ぐためにも、同飛行場の早期の閉鎖、返還を求める必要があるため。

あて先	沖縄防衛局長	外務省沖縄担当大使	沖縄県知事
	在沖米国総領事	在沖米四軍調整官	在日海兵隊司令官
	内閣総理大臣	防衛大臣 外務大臣	沖縄及び北方対策担当大臣
	駐日米国大使	在日米軍司令官	

決議 5号

全会一致で  
可決

嘉手納飛行場から派生する諸問題の解決推進について

(提案理由)

嘉手納飛行場では、早朝飛行をはじめ、戦闘機による滑走路上空での急旋回、低空飛行などの危険行為が日常的に行われている。これらに依り派生する騒音の被害は、同飛行場所在市町のみならず周辺自治体の及んでおり、常に訓練機の墜落の危険にさらされている。本町においても、このような状況から住民の生命、財産、人権及び平穏な生活を守ることは重要である。よって同飛行場から派生する航空機騒音の軽減及び F-15 戦闘機の即時撤去を日米両政府に対して強く要望するため。

あて先	沖縄防衛局長	外務省沖縄担当大使	沖縄県知事
	在沖縄米国総領事	在沖米四軍調整官	在日海兵隊司令官
	内閣総理大臣	防衛大臣 外務大臣	沖縄及び北方対策担当大臣
	駐日米国大使	在日米軍司令官	

